

# Sport for Tomorrow

## ○コアメッセージ

スポーツが未来をつくる: 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会とそれに向けた具体的行動を通じて、世界のより良い未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々に、スポーツの価値とオリンピック・ムーブメントを広げていく。

今後7年間(2014～2020年)で、開発途上国をはじめとする100か国以上の国において、1,000万人以上を対象に、以下のプログラムを実施することを目指す。

### ① スポーツとオリンピック・ムーブメントの普及のための協力

スポーツ関連施設の整備や器材供与、体育カリキュラム策定や大規模競技大会の開催などスポーツ振興策支援といったハード・ソフトの両面におけるスポーツとオリンピック・ムーブメントの普及のための協力

→外務省: スポーツ関連施設の整備, 器材供与(一般文化無償、草の根文化無償)

スポーツ指導者の派遣(JICAボランティア派遣)

日本文化専門家派遣、文化スポーツ分野人材育成支援(外務省/国際交流基金の派遣・招へい)

→文部科学省: スポーツ教育カリキュラムの普及や国際競技大会の開催を支援するため、専門家を派遣

### ② 国際スポーツ人材の育成

→文部科学省: 世界各国からの将来のスポーツリーダーたちが学び合える新たな国際スポーツアカデミーを創設

### ③ 国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援

→文部科学省: 製薬業界とアンチドーピング機関との協働関係を構築

上記に加え、スポーツ振興の前提となる青少年の育成を草の根レベルで支援。(教育施設整備案件)